



『謝り合う心を育みましょう!』

雪もない1月が終わり、あっという間に立春になります。暦の上では春になりますが、これからの2月が一年では一番寒い月。雪遊びをする程の雪は降るのでしょうか。

2月の保育目標は「謝り合う心」の育成をあげました。謝り合うということは「お互い」に謝るということです。一人だけが謝るのではなく、相手も悪かったけど私にも悪いところがあったのかなと自分を省みることだと思います。「人の振り見て我が振り直せ」という言葉もありますが、相手が全面的に悪いと思っても、それを受け止める側も寛容な心が必要だと思います。自分を省みる大切さを今一度考えましょう。相手を責めるのではなく、思いやりの心で赦す。なかなか難しい事ですが、子ども達にはその大切さを少しずつ知らせていきたいと思っています。

IT 社会の現代、平気で人を責める言葉をネットに載せてしまい炎上してしまう恐ろしさを嫌という程見聞きしているにもかかわらず、自分も同じことをしてしまう。そういう連鎖を自覚して絶つことこそ、これからの私たちの責務かなと思います。相手の気持ちを自分だったらと考え、謝り合う心を育てていきたいと思いません。

《 園長 平野 義子 》

行事予定

3日(月) 節分の集い・誕生会

7日(金)静修の日 ★以上児給食費納入期間・・・4日(火)～10日(月)迄

15日(土)保育参観・新年度説明会 (※午前保育)

21日(金)楽天イーグルス・フレンドシップジャーニー(マスコットキャラクター来園)

22日(土)新入園児説明会 28日(金)就学前交通安全教室

?日 避難訓練

15日(土) 9時～新年度説明会を行います。所持品等、大幅に変更となっております。聞き落としのないよう遅れずにご出席下さい。(2階多目的室)尚、卒園児の保護者の方は、担任と入学へ向けての懇談会を行いますのでご参加ください。(ひつじ組保育室)



2月のうた

『ことりたちは』

- 1、そらのとりはちいさくても
おまもりなさる かみさま
- 2、わたしたちはちいさくても
おめぐみなさる かみさま
- 3、わるいことはちいさくても
おきらいなさる かみさま

『うれしいひなまつり』

- 1、あかりをつけましょう ぼんぼりに
おはなをあげましょう もものはな
五にんばやしのふえたいこ
きょうはたのしい ひなまつり
- 2、おだいりさまとおひなさま
ふたりならんですましが
およめにいらした ねえさまに
よくにたかんじよのしろいかお



《お父さんお母さんから》

ひよこ組から始まった保育園生活も、今ではひつじ組です。甘えん坊な〇〇ですが、ことり組の時に2ヶ月半ほど私と離れて生活することになり、淋しい思いをさせ心配で不安でいっぱいでした。そんな中、先生方には温かく見守りサポートしていただいたお陰もあり、毎日元気に登園することが出来本当に感謝しています。気の強い所もありますが、妹が生まれてから上手く甘えられず我慢することが多くあります。それでも妹の面倒を見てくれたり「ママー、お手伝いするよー」と言って手伝ってくれるようになりました。こんな優しい子に育ててくれたのも、素敵なお友達そして優しく時には厳しくご指導下さった先生方に出会えたからだと思います。卒園までの残り少ない1日1日を大切にして、沢山の思い出を作っておきたいです。あっという間の5年間でしたが、ありがとうございました。

(ひつじ組 〇〇〇君のお母さんより)





ばんび組(0歳児)

- ねらい** ・してはいけないことを知り、「ごめんなさい」と動作で表そうとする。
・身の回りのことをやってみようとする。

- 家庭連携** ・いけないことをした時は、表情や声のトーンを変え短い言葉でわかりやすく伝えましょう。
・自分でやりたいという気持ちを受け止め、さりげなく援助をして「できた」と達成感を味わえるようにしましょう。

ひよこ組(1歳児)

- ねらい** ・「ごめんね」「いいよ」と謝ったり、赦すことを知る。
・保育士や友だちと簡単な会話ができる。



- 家庭連携** ・‘してはいけない’ことを、時には子どもの気持ちを受け止めた上で、「ごめんね」と謝ることを知らせ、「いいよ」と優しく応えることで、赦すことも知らせていきましょう。
・園での出来事を尋ねる等して、会話をする楽しさを味わえるようにしましょう。

ことり組(2歳児)

- ねらい** ・相手の気持ちを知り、謝ろうとする。
・身の回りの事を自分でやってみようとする。



- 家庭連携** ・「ごめんなさい」が素直に言える環境を作り、言えた時は大いに褒めましょう。
・子どもの意欲を大切に、身の回りの事やお手伝い等‘出来る事’を増やしましょう。



こねこ組(3歳児)

- ねらい** ・謝ろうとする心、赦そうとする心が育つ。
・食事のマナーを意識して食べようとする。

- 家庭連携** ・子どもの気持ちを受け止めつつ、何がいけなかったのか一緒に考え、素直に謝ったり赦せるよう知らせていきましょう。
・スプーンを持つときに、スプーンの柄に中指をのせてしまうお子さんが多いので、お家の方が見本となり知らせ、出来た時は褒めましょう。

うさぎ組(4歳児)

- ねらい** ・お互いに謝り合う心、赦し合う心が育つ。
・共通の目的を持ち、友だちと工夫したり協力する。

- 家庭連携** ・‘こうするんだよ’と教えるのではなく、どうすれば良いのかを共に考えることで素直な心で謝る・赦すことができるようにしましょう。
・園での様子に耳を傾け、友だちと遊んだ楽しさを共感しましょう。

ひつじ組(5歳児)

- ねらい** ・相手の気持ちに気付き、謝ったり、快く赦し合う心が育つ。
・生活や遊びに見通しを持ち、意欲的に活動を進める。



- 家庭連携** ・素直に謝ったり、優しく赦してあげる思いやりの心を育てましょう。
・どんなことでもお子さんにきちんと話をし、理解できるようにしましょう。

給食室

・日本には行事や風習によって特別な食事があります。正月にはお節やお餅、2月の節分には厄を払い福を招き、1年の平穩無事を願う恵方巻や豆を食べる習慣があります。年々行事が簡素になっていますが、大切にしていきたい風習だと思います。
家族団らんのきっかけに、ご家庭でも行事食に力を入れてみてはいかがでしょうか。



保育士より

「男の子の一生を決める0歳から6歳までの育て方」という本の中に、こんなことが書いてありました。

“心のこもった「ありがとう」「ごめんなさい」が優しさを育む”

男の子は女の子に比べて気持ちを言葉で表すのが苦手です。悪かったなと思ってもなかなか謝れません。親が「ありがとうは？」「ごめんなさいは？」と促しますが、子どもは不満にとりあえず言葉にする…ってことがありますよね。本当に心から「ごめんなさい」が言える子は、周りの人から「ごめんなさい」を言われて公正な姿勢がどれだけ清々しいか心から感じた経験がある子です。普段の生活の中で大人が自ら心のこもった「ありがとう」「ごめんなさい」を使うよう心掛けて下さい。そして、男の子にとってお父さんの「ありがとう」「ごめんなさい」が一番の手本になります。何故ならお父さんも気持ちを言葉で表すのが得意でない場合が多いからです。大きくて強くてカッコいいお父さんから「ありがとう」言われたら何だか自分も強くなって人の役に立てるような気がしてくるんです。いつも正しく間違った事をしないようなお父さんが「ごめんなさい」と言ったら、何だか自分も正しい間として認められたような気がするものです。子どもに自分の過ちを認め、真摯(しんし)に生きてもらいたいと願うなら、大人が堂々と自分の過ちを認め「ごめんなさい」と言ってあげて下さい。

男の子に限らず、女の子にもそして人と人との間にも通じる事だと思います。私自身もそうでありたいと思ったので紹介させて頂きました。
〈副主任保育士 菅原理以〉